

レースっていいよね

第33回 ～またまた旅情編～

GO！ US・TOURの巻

其の弐 「銃撃ちまくり放題」

アメリカは今、熱い真っ最中だ。何がって？ 勿論、大統領選挙。これをサイトに更新する頃には結果は出てるかもしれないけど。ブッシュ対ゴア。滞在中お世話になった横田さんの話ではブッシュ氏は銃肯定派、らしい。

さて、アメリカは銃社会と言われている。今までニュースでしか知り得なかったホントの銃社会の一部を今回の旅で体験してきた。

リンダとニックの牧場は大自然の中に有る。当然獣の類も数多く生息している訳で、鹿やエルクをはじめ、熊やクーガーも沢山いるらしい。で、彼らいわく「家族と自分を守るために、そしてハンティングに必要だ」と言う。

ニックの話によれば、この近辺ではクーガーがスクールバスなんかを襲って結構大勢の子供の命が奪われている、らしい・・・となると、銃の必要性もまんざらではないかもしれない。

今回、ニックが私のために用意してくれた銃は全部で7種類。ピストルが3種類で、ライフル3種類、そしてショットガン。小さいのから大きいのまで、よりどりみどりだ。

さあ行こうか、と誘われ行った先は当然、屋内のシューティングクラブ・・・では無く、彼らの家からクルマで10分程のただの野原。とは言っても、周囲に土嚢があって、そこに的を作るから弾がドコか外れて事故になることはない。

この付近の住民は普段、ここで銃の性能やら試しているようだ。

早速、22口径のライフルから撃ってみる。思っていたほど衝撃は無いけど、耳栓なしでは大変な事になる。数発撃って感覚が分かれると弾は面白いように的に当たり、ニックもリンダも驚いている。「日本でシューティングしてるのか？」って、やってるわけ無いだろ！

次にピストル。これも22口径のリボルバータイプの小さいヤツ。でも、ライフルよりは的に当てるのが難しかった。

38口径のオートマチックと、リボルバーをそのあと撃ったけど、衝撃がスゴイ。とてもじゃないけど片手でなんて打てない。ダーティーハリーが44マグナムを片手で撃ちまくるけど、あれは絶対ウソだ！！ と思う瞬間だった。

やたらデカイ弾のライフルも試すが、音と衝撃の強さにビビる。スコープも付いてるけど、なかなか照準が合わない。JFKが暗殺された時も同じようなライフルだったけど、あの距離でしつかり的にヒットさせるのは素人には無理です。

結局、大きい銃は衝撃もあるし、銃身が結構重いから腕力を鍛えておかないと、正確には撃てない。今の所、私には小さい(こっちでは女性用とさえ言われる)サイズの銃が一番命中率が高く、扱える限界のようだ。それでもリンダもニックも、初めてにしては本当に上出来、と誉めてくれる。

リンダは「私が初めての時は的になんか当たらなかったわよ」と言うが、彼女が初めて銃を親からプレゼントされたのは8歳の時というから、「そりゃそうだろ・・・」

まあ、それにしても命中率は(初めてにしては)そこそこで、自分でも驚いたのは事実。
ゲーセンのシューティングゲームに一時はまった事はあるものの、まさかあんな物が役に立つこともある
まい。
ビギナーズラックってやつ？ かもね。

再度驚いたのは、なんと言っても翌日。目を覚ますとやたら腕が重い。どうやら筋肉痛になったらしい。
時間にして1時間かそこら撃ちまくっただけなのに……。

いずれにしても、銃というのはオソロシイ物だ。あんな物がもし感情をコントロールできない人間の手に
渡ったら
大変な事になる。州にもよるだろうけど、ほとんどのアメリカ人がショッピングでも銃を携帯していると言う
から、
アメリカという所はちょっと怖い国かもしれない。

とは言うものの、ナイフを携行してる日本の方が怖かったりして。ライフルはともかく、ピストルはそうは簡
単に当たらないし、弾も限られる。ナイフはほぼ確実にヒットするからね。

